平成21年６月４日発行

衆議院議員
木原せいじ
国会活動報告書
せいじ便り 28号

揺るぎなき挑戦!!

宙に浮いた年金問題の現状について

・解明作業は進展していますが、依然、１１６２万件に手がついていません。
・自らの記録を一番よく知る、国民お一人お一人のご協力をお願いしています。
・社保庁は、非公務員化し、効率化します。

【５０００万件の解明状況…着実に前進しています】

「宙に浮いた年金記録」については、「不始末誠に申し訳ありません」でした。解決のため、国民の皆様の協力をいただきたい」との考えのもと、年金特別便、年金定期便を発送し、国民の皆様に自らの記録を自らご確認いただくことで、記録確認を進めてきました。同時に、社会保険労務士の皆様や社会保険庁ＯＢなどにも積極的に記録解明作業に携わっていただきました。これまで約２７００万件弱の記録が解明され、約１３００件が解明途上にあります。

この結果、１１６２万件が今後解明を進めなければならない記録として残ってしまっていますが、何十年もにわたって積み重なった社会保険庁のずさんな仕事の結果ですから、地道に作業を進めていく以外にありません。

【国民全員に記録確認作業への参加をお願いするしかない】

民主党は、人・モノ・金を大胆に投入して、８．５億枚の紙台帳との照合を主張しています が、そもそも紙台帳自体が正確かどうかもはっきりしていません。また、上述のとおり、既に社会保険労務士の皆様や、入力作業や電話応対のために多くの民間の方にも加わっていただいてます。これ以上投入するといっても、誰でもいいということではありませんから、専門性の問題があります。

むしろ、自らの記録を一番よく知る国民の皆様に全員参加していただこう、その意味で、人を大胆に投入して取り組んでいます。

【責任はどこにある】

消えた年金記録問題の責任は、明らかに、政府・与党にあります。申し訳ないことであり、国民の皆様におすがりして、記録確認作業への参加をお願いしているところです。

しかし、長年にわたり、官公労（労働組合）が、「コンピューターのキータッチは１日５０００回まで」とか「１連続作業時間は、50分以内」といった要求を突きつけて、社会保険庁の現場で仕事をサボタージュしてきたことがより直接的な原因であることも事実です。

ところが、官公労の支援を受ける民主党は、社会保険庁を国税庁に統合し、公務員の身分を温存すると言っています。これでは、役人体質を温存するだけでなく、大事な税金を扱う国税庁が劣化してしまいます。我々は、日本年金機構を新たに設立して、社会保険庁職員を非公務員化し、サービス、仕事の在り方を根本的に変えることを目指しています。しかも、記録改ざんや記録の

■木原せいじ公式モバイルサイト
http://kiharaseiji.com/k/

携帯電話から木原せいじモバイルにつながります。
木原せいじの日々の活動をブログにて公開中。

ぞき見などをした職員については、再雇用しないこととしています。

年金の将来を考える

- 税方式移行で少子高齢化の影響から逃げられるわけではありません。
- 税方式移行の具体的な内容は「まだ詰めていません」では無責任。
- むしろ、無年金・低年金者が生じないよう、保険料免除・軽減部分を税金で補てんすべき。
- 同時に、保険料払込期間を短縮すべき。

【税方式の課題】

少子高齢化で保険料方式は持続困難なので、税方式に移行しようとの意見があります。しかし、税金も、多くは勤労世代が負担する以上、税方式も、少子高齢化の影響を免れませんし、成長率や物価変動にも影響を受けます。税方式にすれば問題が解決するというのは幻想にすぎません。

しかも、既に保険料を何十年と払っている方との公平を考えると、完全な税方式への移行には数十年かかりますし、10兆円を超える新たな税財源を確保しなければなりません。完全移行完了までは、現役世代に、保険料と新たな税負担の両方が発生する「二重負担」の問題もあります。

【年金こそ具体論・詳細設計が大切】

民主党は、長年にわたり、税方式で最低保障年金を導入することを政権公約の一丁目一番地に据えてきたはずですが、こうした点について、詳細を提示していませんし、法案も提出していません。

しかも、最低保障年金で年金水準が上がるかのように主張していますが、実際は民主党の提案は約7万円。現在の基礎年金満額6．6万円と大きく異なるわけではありません。むしろ、税方式だと、生活保護とのバランスから年金受取に所得制限が必要になります。

私は、上述のような税方式の課題について、衆議院厚生労働委員会で質問させていただきました。その際、民主党の大塚耕平議員は、「まだまだ詰めるべき点が多々ございまして」との答弁でした。

しかし、国民生活の根幹である年金こそ具体論が不可欠であり、無責任といわざるを得ません。

【そこで…どうする!!】

むしろ、保険料方式を維持しながら問題点を是正していくことが、現実的な対応です。

保険料方式の課題の一つは、現役時の保険料未払いによる無年金・低年金者の発生です。そこで、払いたくても払えない方々には、保険料の免除や軽減措置が整備されています。先ずは、この制度をしっかり利用していただくことです。同時に、現在の免除・軽減措置では、免除された部分の納付は免除されなかった場合の2分の1にしかカウントされません。そこで、免除された部分は、税金で穴埋め・補てんする制度に改めれば、無年金・低年金の問題は解決します。

第二の課題として、保険料の最低払込期間が25年と長すぎる点がありますが、10年程度へ短縮することで対応ができます。

いずれにしても、年金を政争の具にして、人々の不安を煽る動きは慎み、与野党問わず、冷静に、真摯に議論していかなければなりません。

木原せいじ事務所

■国会事務所　〒100 - 8982
東京都千代田区永田町2 - 1 - 2
衆議院第2議員会館606号室
TEL：03 - 3508 - 7606
FAX：03 - 3508 - 3986

■地元事務所　〒189 - 0013
東京都東村山市栄町2 - 22 - 13
松岡ビル2階
TEL：042 - 392 - 4105
FAX：042 - 392 - 4106

For your smile

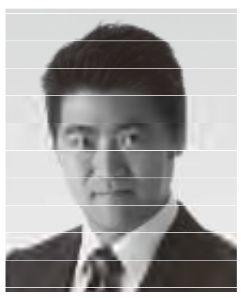
ボランティアを募集しています!

事務所内における事務、ポスター貼り、各種広報物の配布などお手伝いいただけるボランティアを募集しています。どんな事からでもかまいません。政治に興味があって、木原誠二の政治活動を手伝ってみようと思われる方は是非ご連絡ください。

国会見学に行きませんか?!

木原せいじ事務所では、随時、国会見学を受け付けています。友達や仲間とお誘い合わせの上、是非ご来館ください。少人数からでもお気軽にご相談いただければ結構です。テレビで報道される国政の生の現場をご案内します。

木原せいじ プロフィール



- 私立武蔵中学・高校、東京大学法学部卒業
- 大学時代はテニスで全国選抜3位
- 平成5年大蔵省（現財務省）入省、主計局、大臣官房、国際局課長補佐、税務署長歴任
- その間、英国大蔵省出向（初代）
- 平成17年9月　衆議院選挙当選
- 現在、厚生労働委員会、内閣委員会、拉致特別委員会、各委員。党では、国際局次長、青年局次長、女性局次長、学生部参与。
- 趣味はテニス・ピアノ・散歩。座右の銘「至誠通天」。
- 著書「英国大蔵省から見た日本」（文春新書）

ホームページ：http://www.kiharaseiji.com　発行：木原せいじ後援会 東京都東村山市栄町2 - 22 - 13 松岡ビル2階

○ 木原せいじ事務所では、随時、国会見学を受け付けております。○ ご意見・ご要望はお気軽に木原せいじ事務所まで。　○ 自民党では、自民党員を募集しております。